

毎年6月から8月にかけてホタルが見られますが、ホタルが発光するのは、交尾のためと言われています。ホタルは、交尾して卵を産むと死んでしまいます。

川岸の水ごけなどに産みつけられた卵は、30 日くらいでかえります。⇒ **孵化**

孵化(ふか) した幼虫はすぐに水の中に入りカワニナやモノアラガイなどの淡水性の巻き貝をエサにして育ちます。そして、次の年の春(長いときでは2年後の春)に川岸にはい上がって土の中にもぐりサナギになります。⇒ **土マユ**

土の中でサナギは成虫となり地上にはい出て夜空に光り、自分のこどもを残します。

このようにホタルは、成虫となって光る期間はほんの少ししかなく、一生のほとんどを水の中で過ごしています。 だから、きれいな水がないとホタルは生きていけないのです。